

友愛創立50周年を迎えて

鳩山薰先生と
カレルギー伯爵初代理事長
鳩山一郎先生

1953年(昭和28年)鳩山一郎先生の友愛思想に共鳴した有志たちによって友愛青年同志会は産声をあげた。その思想と運動は、友愛青年協会と改称した今日まで脈々と受け継がれている。諸先輩がどのような志を抱いて草創期を過ごしてこられたのか、50年を振り返ってみたい。

友愛青年同志会の創立
に至るまでに3つの発展
を受け(1946年5月から51年8月)、軒井

が考えられる。
第一番目は、鳩山一郎先生がGHQの公職追放

で、日本で「自由と人道」の著書『人間対全体主義国家』を翻訳され、

27年にになって『自由と人道』というタイトルで出版された。カレルギー伯

の説く「友愛革命」に強く共感されたからである。

1952年(昭和27年)9月12日、日比谷公

会堂で鳩山先生が政界復帰の第一声をあけられたときには、この友愛革命を提唱された。これがもっとも重要な出来事である。

1953年(昭和28年)4月に友愛

青年同志会が旗揚げし、

鳩山一郎先生が初代会長に就任された。運動が本格的な形になったのは組

務省へ行くと、「外交官ですら経費不足で住地周辺の旅行や研究ができるのに、外國の事情も知らない、言葉もできない、マナーも悪い、そんな中を派遣したら、日本の恥をさらすだけだ」

3代目理事長
鳩山威一郎先生

研修の先鞭をつける
国際交流・青少年

帰る第一声をあけられた
街頭演説個人演説会と
ともに、この友愛革命を
提唱された。これがもっとも重要な出来事である。

1953年(昭和28年)4月に友愛

青年同志会が旗揚げし、

鳩山一郎先生が初代会長に就任された。運動が本

格的な形になったのは組

務省へ行くと、「外交官

ですら経費不足で住地周

辺の旅行や研究ができる

のに、外國の事情も知

らない、言葉もできな

い、マナーも悪い、そ

んな中を派遣したら、

日本の恥をさらすだけだ

た」

とある。この件は、

鳩山威一郎先生によると、

「この件は、

友愛事務所への散歩

— 深津 荣一



年をとったせいか健康に気づかって下さる方が多くなった。有難いこと多かった。

だと思うが、最近では顔をみると「どんな眞面目ですか」と挨拶がわりに聞く

多かった。歩くことで新

陳代謝が促進され、眼や

歯の働きがよくなるとい

うことらしい。

歩くと言つても、「何

処」に行こうというあてが

あるわけではなく、「歩く

ことが目的」と言つことだ

らうが、こういうことに

がさぞ迷惑でしよう

に」と言う。そう言われ

ることはない、と思って

いた。したがつて私の住

までも歩くことが多くなつた。すると家内がまた

友愛ですか、事務所の方

のきわめて短い「生涯」

からば自然に事務所に

足が向くことが多くなつた。これだけの作品がこ

と書かれた。

ところから春日町駅の北

口にむどりと言間通りで

てみると、私が行ひお

茶を出したり、話相手に

なつてださる。そこで

事務所に一番近いところ

へと折り返すと、右

それでも、どうしても

散歩はそういう人にす

すめられてはいた。最

初にすめたのは医者で

あって、それも内科、外

科にはしまっていま

る。京区は文字通り「文

化」である。ここが「葉

と印刷の「興陽社」の

窓から左手を見る

ところ、「目的」と

歩くがわいに聞

う」と思つた。そこで

歩くけれど、どこか「目的

」こと

になった。

だから、彼らのゆかりの

所「菊坂町69番地」であ

る。そして近くに「葉

」碑がある。ここが「葉

」の終焉(えん)の地

質草(じちらざ)をもつ

ければならなかつたが、

今この事をするよう

だつたと日記

になつた。歩くことで新

場所を目ざすことによ

った。

それでも、どうしても

歩くけれど、どこか「目的

」こと

になった。

</div



音楽会を終えて

ワインを訪ねた3月の気候はまだ寒く、雪の日もありました。しかし宿泊先であるOJAB創立者ブルノ・ブーフヴィー博士を記念したヨーロッパハウスの窓から自然を見ていると、日々暖かくなる春の足音を感じました。ヨーロッパハウスはとても清潔感があり、24時間使える練習室があるという、私にとってとても恵まれた素晴らしい環境でした。

海外での入賞者記念音楽会といつ不安や緊張についてとても恵まれた歌の他、かねてより念願だった恩師島崎先生との二重唱、そしてOJAコンクール本選会で歌を歌う不安は演奏前まで心地よいものでした。レッスンを重ねるごとにほれ、音楽に浸れる毎日を楽しむようになります。レッスンではドイツ語圏であるウィーンの歌の他、旋律の美しい歌など演奏表

立者ブルノ・ブーフヴィー博士を記念したヨーロッパハウスの窓から自然を見ていると、日々暖かくなる春の足音を感じました。ヨーロッパハウスはとても清潔感があり、24時間使える練習室があるという、私にとってとても恵まれた歌の他、かねてより念願だった恩師島崎先生との二重唱、そしてOJAコンクール本選会で歌を歌う不安は演奏前まで心地よいものでした。レッスンを重ねるごとにほれ、音楽に浸れる毎日を楽しむようになります。レッスンではドイツ語圏であるウィーンの歌の他、旋律の美しい歌など演奏表

ワインのコンサートを終えて リートコンクール優勝者 遠山 裕美さん



が

できました。

演奏会後

の

P.A.T.E.I.

で

OJAB

よ

記念

に頂

いた

有名な

ス

ギ

の

ガラス

の

置物

は

こ

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

